令和7年度　兵庫県立阪神昆陽特別支援学校　キャリア教育発達段階表

（資料2）

キャリアの段階					第１段階 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力が何なのか**「気づく」**時期。	第２段階 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力が何なのかに気づき、**「実行して」**その資質・能力を獲得していく時期。	第３段階 自己の在り方や生き方を考え主体的に進路を選択する時期。また、卒業後の進路に合わせた生活ができるようにしていく**「移行期間」**の時期。
教育課程		基礎的・汎用的能力	項目		第１段階において育てたい力	第２段階において育てたい力	第３段階において育てたい力
職業生活単元学習	（1）【基礎分野】 基礎 （職業・生活、課題別） ※国語、社会、理科、数学、外国語、職業 （2）【技能分野】 保健 くらし 情報 （3）【充実分野】 音楽 美術 体育	人間関係形成・社会形成能力 「人間関係形成・社会形成能力」は、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力である。	①	集団参加　→ 協力・共同	集団の中で自分の役割を見つけることができる。（人）	集団の中で役割を理解して行動できる。（人）	周囲の状況を理解し、リーダーシップを発揮できる。（人）
			②	意志表現　→ 共感・尊重	自分の言葉で話すことができる。（コ）	相手にわかりやすい言葉で伝えることができる。（コ）	**相手を尊重し、言葉や態度で共感を示すことができる。**（コ）
			③	挨拶・身だしなみ	**返事や挨拶ができる。**（人）	**清潔感を意識して、みだしなみを整えることができる。**（人）	状況に応じた言葉づかい、態度ができる。（人）
			④	規範意識	**理由のない遅刻や欠席をせず登校できる。**（人）	**学校行事や授業の中でルールやマナーを守ることができる。**（人）	社会人としてのルールやマナーを守ることができる。（人）
		自己理解・自己管理能力 「自己理解・自己管理能力」は、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。	⑤	自己理解　→ 社会貢献	自分の良さに気づく。（心）	自己理解を深め、長所を伸ばすことができる。（心）	自らの適性を知り、集団（社会）に貢献できる。（人）
			⑥	健康・衛生　→ 自己管理	健康面や衛生面を意識することができる。（健）	**健康の保持増進を心がけることができる。**（健）	健康面や衛生面の自己管理ができる。（健）
☆作業学習（専門コース）	（4）流通・サービス （5）食品加工・農園芸 （6）福祉・介護 ※技能検定 ビルクリーニング 喫茶サービス 物流・品出し パソコン ※職業体験週間 １年前期　校内実習 後期　現場実習 ２年前期　現場実習 後期　現場実習 ３年前期　現場実習 ※わたしの学習計画		⑦	物の管理・提出物・整理整頓→責任感	教科書、プリント、ファイルを管理することができる。（環）	**提出物の期限を守ることができる。**（環）	公共の物や場所を意識して、積極的に整理整頓ができる。（心）
			⑧	やりがい　→ 生きがい	新しいことや苦手なことにチャレンジすることができる。（心）	活動への積極的参加と工夫、振り返りができる。（心）	様々な学習活動への主体的な取り組みができる。（心）
		課題対応能力 「課題対応能力」は、仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力である。	⑨	課題の発見	自分の課題や様々な解決方法があることを知る。（心）	**課題解決の目標を立て、努力することができる。**（心）	最適な方法で自らの課題を解決することができる。（心）
			⑩	支援のネットワーク構築	**必要な支援を求めたり、相談することができる。**（コ）	福祉サービスや関係機関の存在を知る。（環）	卒業後にかかわる関係機関とつながり、利用方法が分かる。（環）
			⑪	安全への意識・指示理解→作業能率	指示をある程度理解でき、安全への意識を持つことができる。（環）	**指示された作業を的確に理解し、安全に作業することができる。**（環）	指示の意図を理解し、能率よく安全に作業することができる。（環）
			⑫	実習でのスキル	**素直に注意を受け入れ、報告・連絡・相談ができる。**（心）	**メモを取って活用し、適切な態度で集中して作業できる。**（心）	作業の状況に応じて、他者と協力してワンチームを目指すことができる。（心）
		ｷｬﾘｱﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ能力 「キャリアプランニング能力」は、「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力である。	⑬	働く意欲	働くことの意味や仕事の職種を知る。（心）	実習から達成感ややりがいを見出す。（心）	**やりがいや意欲を持って仕事に取り組むことができる。**（心）
その他	（7）特別の教科道徳 （8）総合的な探究の時間 （9）特別活動 （10）自立活動		⑭	自己選択　→ ライフプラン（人生設計）	ライフスタイルを見つめ、余暇について考えることができる。（人）	余暇の過ごし方を計画できる。（心）	仕事と余暇のバランスのとれたライフプランを立てることができる。（心）
			⑮	振り返り　→ 肯定的な自己評価	振り返りの大切さに気づく。（心）	振り返りをして、それを次に生かそうと努力ができる。（心）	自分の成長を実感し、自信を持って働くことができる。（心）
			⑯	自己調整　→ 感情のコントロール	自分の感情の特性に気づく。（心）	**うまくいかなかった場合でも気持ちを切り替えることができる。**（心）	安定した心で仕事に取り組むことができる。（心）
自立活動との関連					※上記の各項目に自立活動との関連を次のように略記号（　）で表す。 健康の保持（健）、心理的な安定（心）、人間関係の形成（人）、環境の把握（環）、身体の動き（身）、コミュニケーション（コ） **※下線部は、就職向けての重点項目**		